

太刀掛秀子展

～『りぼん』70's おとめチック☆エポック～

2026年 4月4日 Sat. → 6月28日 Sun.

【前期】
【中期】
【後期】

4月4日
5月28日
6月28日
4月24日
5月24日
4月26日

★会場構成は変わらず、
原画作品を入れ替えます。



① 展覧会チラシ画像

1970年代後半の『りぼん』で活躍し、約12年という短い活動期間ながらも、**美しいカラーイラスト**や**巧みなコマ割りの技術**で注目されて続けている漫画家です。本展は太刀掛の**初めての展覧会**。ほとんどが**初公開**となる原画**約400点**（前・中・後期の合計点数）を一挙公開します。また同時代に活躍した**陸奥A子**・**田渊由美子**の原画も参考展示として紹介します。

展覧会概要

2025年に創刊70周年を迎えた少女雑誌『りぼん』（集英社）。数々の名作が誕生した歴史の中で、1970年代半ばから後半にかけて、“おとめチック”という大ブームが巻き起こりました。太刀掛秀子はこのブームを牽引した漫画家のひとりです。「P.M.3:15ラブ♡ポエム」や「なっちゃんの初恋」で等身大の少女のラブストーリーを描いて人気を獲得し、「ミルキーウェイ」「雨の降る日はそばにいて」「花ぶらんこゆれて…」などの連載作品では、シリアスでドラマチックなストーリーで読者を魅了しました。約12年という短い活動期間ではありますが、繊細で美しいタッチの絵や卓越したコマ割りの技術で、引退後も注目され続けています。太刀掛が『りぼん』で最後に発表したストーリー漫画「星聖夜」（1986）から40年。これまでほとんど展示されることの無かった美しい原画の数々を初公開いたします。

展示のみどころ

Point.1 最大のホープ“でこタン”デビュー！人気漫画家へ



◎ 号② 「雪の朝」 『りぼん』
扉（1973年） 10月大増刊
◎ 太刀掛秀子／集英社



◎ バ③ 「なっちゃんの初恋」 コミックスカ
パー（1977年）
◎ 太刀掛秀子／集英社

1973年、第6回「りぼん新人漫画賞」にて「入選」し、創設されてから初めての大賞受賞者となりました。17歳の時に「雪の朝」でデビュー、“最大のホープ”とうたわれ、“でこタン”“てりいたん”のニックネームで親しまれます。初期の頃から命を題材にしたシリアスな内容が多く、太刀掛作品の核となっています。

Point.2 代表作「花ぶらんこゆれて…」誕生



◎ ④ 「花ぶらんこゆれて…」 『りぼん』
5月号 扉
◎ 太刀掛秀子／集英社



◎ ⑤ 「花ぶらんこゆれて…」 『りぼん』
10月号
カラーページ（1978年）
◎ 太刀掛秀子／集英社

太刀掛のコマ割りは、複雑に進化した少女漫画コマ表現の例として、漫画研究者から度々注目されています。時間の経過と感情の動きを多層的に表現しており、作品をドラマチックに演出しています。

Point.3 多彩なカラーイラスト



⑥ 「まりのきみの声が」 『りぼん』4月号(1980年) 表紙
◎ 太刀掛秀子 / 集英社



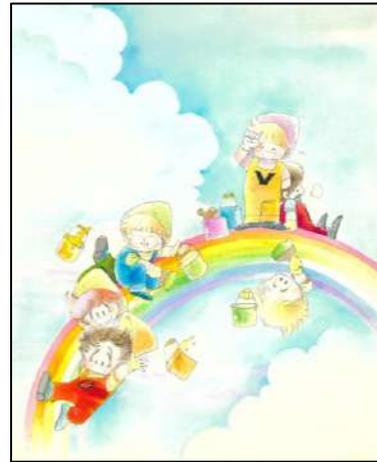
⑦ 絵本「青い鳥」(1983年)
◎ 太刀掛秀子 / 集英社

1980年代に入ると、線の描き方が洗練され、細い繊細なタッチへと変化しています。カラーイラストの着彩も熟達し、淡い色を組み合わせたグラデーションの美しさに目を奪われます。

Point.4 きゃわゆい! 『りぼん』のふろく

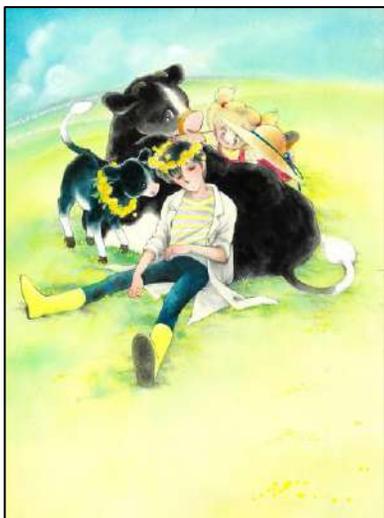


⑧ 「フェアリーしたじき」 『りぼん』4月号(1980年) ふろく
◎ 太刀掛秀子 / 集英社



⑨ 「レインボーフェアリーレポート」 『りぼん』6月号(1981年) ふろく
◎ 太刀掛秀子 / 集英社

Point.5 「愛」と「命」を描き続けて



⑩ 「ポポ先生がんばる!!」 『りぼん』7月号 扉(1983年)
◎ 太刀掛秀子 / 集英社



⑪ 「星聖夜」 『りぼん』5月号 扉(1986年)
◎ 太刀掛秀子 / 集英社
*最後のストーリー作品

愛とは何か、生きるとは何なのか…太刀掛は作品を通して読者に問いを投げかけます。その姿勢は『りぼん』卒業まで貫かれました。重いテーマでありながらも、太刀掛の画力と表現力によって、ロマンチックで美しい物語になっています。

同時代に同誌で活躍した漫画家・陸奥A子&田淵由美子の原画も合わせて展示します!



たちかけ・ひでこ。1956年2月13日広島県生まれ。1973年、高校生の頃に第6回「りぼん新人漫画賞」で創設以来初の大賞となる「入選」を受賞、『りぼん』10月大增刊号にて受賞作「雪の朝」が掲載されてデビュー。その後大学に通学しながら「なっちゃんの初恋」「ミルキーウェイ」「雨の降る日はそばにいて」などを連載して人気を得る。その他の代表作に「花ぶらんこゆれて…」「まりの きみの声が」「ポポ先生がんばる!!」などがある。絵本「青い鳥」も手掛けた。1996年から海外での子育てについて描いたエッセイ「でこたんの子育てだより 毎日ローラーコースター」や「Dekomaru通信」を執筆した。

コラボグッズ・イベントなど

◆太刀掛秀子展 関連書籍◆



本展覧会にあわせて、河出書房新社より「陸奥A子・田淵由美子・太刀掛秀子 りぼん70's おとめチック☆エポック」発売中！担当学芸員が編集しました。

1,980円 (税込)

◆コラボカフェ◆

美術館隣接の夢ニカフェ港やでは、コラボメニュー「花ぶらんこゆれて…」フルーツサイダーを販売します。
★オリジナルステッカー付き！



◆担当学芸員によるギャラリートーク◆

4/26 (日)、5/16 (土)

いずれも午後2時～ 約40分
(事前申込不要・要入館料)

※太刀掛先生は参加されませんのでご注意ください。

◆オリジナルグッズ◆

太刀掛先生のイラストをあしらったポストカード、クリアファイル、メモ帳、トートバッグなどオリジナルグッズを販売します！

開催概要

- ❖ 展覧会名称 太刀掛秀子展～『りぼん』70's おとめチック☆エポック～
- ❖ 主催 弥生美術館
- ❖ 特別協力 集英社
- ❖ 会場 弥生美術館 1・2階展示室
- ❖ 住所 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3
- ❖ TEL 03-3812-0012
- ❖ 会期 2026年4月4日(土)～6月28日(日)
- ❖ 休館日 月曜日 ※4/28～5/10は無休
- ❖ 開館時間 午前10時～午後5時 (ご入館は4時30分まで)
- ❖ 交通 東京メトロ千代田線〈根津駅〉及び南北線〈東大前駅〉より
いずれも徒歩7分
JR上野駅公園口より徒歩20分
- ❖ 入館料 一般1200円／大・高生1000円／中・小生500円
※竹久夢二美術館と二館併せてご覧頂けます。
- ❖ ホームページ <https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>
- ❖ 出展作品 原画約300点(前・中・後期の合計点数)と、

☎ 展覧会についてのお問い合わせ先

弥生美術館 担当学芸員
外館恵子 (Todate Keiko)

Tel / 03-3812-0012

Fax / 03-3812-0699

その他単行本・雑誌・ふろくなどの資料も含む **総展示数約450点**

FAX 03-3812-0699

弥生美術館 ^{とだて}外館 行

太刀掛秀子展

～『りぼん』70'sおとめチック☆エポック～

写真使用申込書

写真送付日 _____ 月 _____ 日 必着

掲載紙（誌）／番組名	
発売／放送予定日	
所属・ご担当者名	
ご住所 〒	
TEL	FAX
メールアドレス	

ご希望のものに○をご記入ください。

図版番号（プレスリリースをご参照ください）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

※図版にはすべてキャプション表記をお願い致します。

※画像のデジタルデータの転用は禁止です。ご利用後は破棄していただきたくお願い致します。

読者プレゼント招待券 (5組10名)	希望する
--------------------	------

通信欄

画像データの提供について

同封のプレスリリースに掲載の図版について、メールに添付して画像データをお送りいたします。
ご希望の場合は、この申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 までお申し込みください。
また美術館写真（外観／展示室）を必要とされる場合はご一報ください。

読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券（5組10名分）を用意いたします。この用紙にてお申し込みください。

掲載紙（誌）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが掲載誌（紙）をお送りくださいますようお願い申し上げます。 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3 弥生美術館 担当 ^{とだて}外館宛